

個人のための移動機器 -パーソナルモビリティ-

東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 高橋良至

■ シェア自転車



Vélib'

23000 台の自転車が、1700 か所以上のポートに配置されている。1日 1.7EUR(約 205 円)。他に、7 日利用、年間利用が設定されている。1 回の利用は 30 分までで、それ以上は別途料金が発生する。

ポートの端末で解錠コードを設定し、解錠する。返却は任意のポートの駐輪可能なスタンドに。パリ市が運営している。(パリ)



mobike

アプリで乗る自転車を予約し、アプリの誘導に従って予約した自転車を見つけ、認証コードで解錠する。走った後、施錠すると使用時間に応じて課金されるシステム。30 分 120 円。

Mobike スコアというポイント制度があり、ポートに返却しないなどするとスコアが減られ、一定スコア以下になると使用できなくなる。逆に、返却場所を報告するなどすると、スコアが増える。中国企業だが、ヨーロッパにも進出している。(ポーランド)

■ シェア電動キックボード



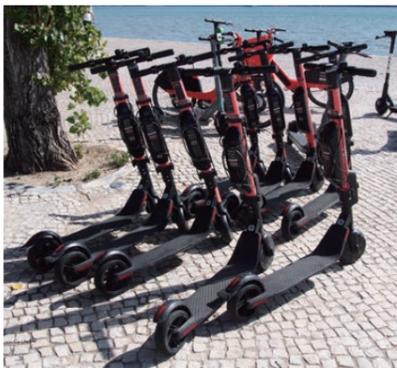
Lime-S

アプリで近くにあるキックボードを探し、車体の QR コード読み込みで解錠。どこでも乗り捨て可能であるが、停めた場面の撮影が求められる。しかし、道ばたや公園に転がっている様子をよく目にする。パリでは解錠に 1 EUR (約 120 円)、一分あたり 0.15EUR (約 18 円)。アメリカの企業。(パリ)



Circ

ドイツの企業。(リスボン)



Voi

スウェーデンの企業。(リスボン)

■ シェア電動スクーター



Cityscoot (左)

アプリで乗るスクーターを予約し、アプリの誘導に従って予約したスクーターを見つけ、4 桁のコードで解錠する。走った後、施錠すると使用時間に応じて課金されるシステム。1 分 0.29EUR(約 35 円)。

座席の下にヘルメットが格納されている。アリアンツ(ドイツ)が運営している。パリ、ニース、ミラノ、ローマで展開している。(パリ)

ACCIONA (右)

アプリで乗るスクーターを予約し、アプリの誘導に従って予約したスクーターを見つけ、解錠する。走った後、施錠すると使用時間に応じて課金されるシステム。最高時速 50km/h、80km/h のモードにより料金が変わる。いくつかの料金プランがあるが、最安で 1 分 0.2EUR(約 24 円)。

リスボンには 300 台のスクーターが配置されている。ACCIONA(ポルトガル)が運営し、リスボン、マドリッド、バルセロナで展開している。(リスボン)

■ 問題点



多くの都市にシェア自転車はあるが、ポートに自転車がなかったり、寂れているところも多い。乗り捨て可能なものの駐輪は問題になると思われる。左の写真は、リスボンのシェア自転車 Gira。スタッフが自転車のメンテナンスと再配置を行っている。

近年、シェア電動キックボードはいくつもの企業が参入しているが、放置が問題となるとと思われる。右の写真は、パリのブローニュの森近くの人気のない歩道に放置された Lime-S。

また、ロンドンやパリなどでは電動キックボードの運転に対する規制が厳しくなっており、歩道の走行が禁止、時速 20km 以下となっているようである。